

Cisco Wireless LAN Controller (WLC) に関する脆弱性について②

Cisco Wireless LAN Controller (WLC) ソフトウェアに脆弱性があることが判明しました。この脆弱性は、802.11WME のパケットヘッダ部分の整合性チェック処理が不完全に処理されることに起因します。攻撃者は、この脆弱性を利用し不正な 802.11WME フレームを送信し続けることでサービス拒否 (DoS) 状態となり、機器を再起動させることが可能となります。

■脆弱性の詳細情報

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170405-wlc>

■対象製品およびバージョン

Cisco Wireless Controller

■対処方法

恒久対策として、下記修正ソフトウェアにバージョンアップを行ってください。

| OS のバージョン | Cisco 推奨バージョン |
|---------------|---------------|
| 8.0 以前 | 8.0.140.0 |
| 8.0 | 8.0.140.0 |
| 8.1 | 8.2.141.0 |
| 8.2 | 8.2.141.0 |
| 8.3 | 8.3.112.0 |
| 8.4 (脆弱性該当なし) | - |

■修正ソフトウェアの入手方法

以下のサイトから入手可能です (事前にアカウント登録必要)

<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

お問い合わせは、弊社担当営業までお願いいたします。